

「第4回高校生とつながる！つなげる！ジーニアス農業遺産ふーどコンテスト」開催要項(案)

1 趣旨

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある農林水産業が営まれる 36 の農業遺産地域(世界農業遺産 17 地域、日本農業遺産 28 地域※重複あり)は、国民の大切な共有財産である。農林水産省では、農業遺産地域の魅力を広くそして力強く発信し、地域活性化を図る取組の一環として、各農業遺産地域が所在する県内に在学している高校生にスポットライトを当て、農業遺産地域の製品を使用した食品又は料理のアイデアを募集するコンテストを開催する。次世代を担い未来を創る高校生達に1次産業への興味、関心を持ってもらい、自地域にとどまらず全国の農業遺産について理解を深め、地域間でつながり、互いに発展していく機会として活用してもらうことを目的とする。さらに、本コンテストの実施及び集まったアイデアをきっかけに、高校生のみならず農業遺産地域同士での交流や連携の契機とする。

2 開催日程(予定)

募集期間:令和8年7月1日(水)～9月 30 日(水)

審査会(非公開):令和8年 11 月上旬

表彰式(公開):令和8年 12 月中旬

3 応募内容

農林水産省 web サイトに掲載している農業遺産 36 地域の製品紹介資料の中から別々の2地域以上の農業遺産地域の製品を使用して、高校生ならではの食品又は料理のアイデアを募集。

※食品又は料理の写真、イラスト、キャッチコピー、アイデアに込めた想い等を所定の様式に記載して応募

※過去に同様のコンテストにおいて受賞をしたアイデアの応募は不可

※既に商品化されたものの応募は不可

4 応募対象者

世界農業遺産および日本農業遺産の認定地域が所在する県内の高等学校(高等専門学校含む)に在学中の生徒

※参加の単位は、個人またはチーム(1チーム3名まで)

※コンテストの参加について保護者及び在学する学校(校長または担当教員)の許可を得ていること

5 審査方法

応募アイデアの中から書類審査の上、受賞アイデアを決定する。

※応募多数の場合、審査会前に事務局において事前審査を行う

6 各賞及び副賞

ゴールド賞(1件):賞状、受賞アイデアをプロが料理し期間限定で東京都内のレストラン等で販売、東京2日間の旅にご招待(プロが料理した受賞アイデアをレストランでご賞味)

※東京2日間の旅を辞退する場合は、農業遺産地域の産品を贈呈

シルバー賞(3件):賞状、農業遺産地域の産品(ひとり1セット×チーム人数分)

農業遺産地域特別賞(1件):賞状、農業遺産地域の産品(ひとり1セット×チーム人数分)

## 7 採点方法及び審査のポイント

### ゴールド賞、シルバー賞

- ・審査基準は「独創性」、「実現性」、「SDGs 性」、「PR 性」、「ストーリー性」、「見た目」とし、項目ごとに点数を付け(配点は1点～6点とする)、総合得点をもとに審査を行う。
- ・農業遺産地域特別賞との重複不可、採点結果は非公開とする。

### 農業遺産地域特別賞

- ・審査基準は「独創性」、「実現性」、「SDGs 性」、「PR 性」、「ストーリー性」、「見た目」とし、特に「PR 性」、「ストーリー性」の観点を重視して各農業遺産地域にて1位から3位の順位を付け投票。1位3P、2位2P、3位1P の得点を付与し、総得点が最も高い作品を選定。集計は農業遺産認定地域連携会議の幹事地域(令和8年度:大分県国東半島宇佐地域)が行う。
- ・各賞との重複不可、自地域からの応募者への投票可。採点項目、採点結果は公表しない。

## 8 審査員(予定)

審査員長 株式会社 YeeY 共同創業者/代表取締役、アステリア株式会社 CWO (Chief Well-being Officer) 島田 由香氏

副審査員長 農業遺産認定地域連携会議代表(令和8年度幹事地域)大分県国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会事務局代表者(幹事地域において選定)

審査員 農ライフアーズ株式会社 井本 彩織氏

審査員 ゴールド賞アイデア提供レストラン代表者(事業者が候補選定)

審査員 農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課農村環境対策室長

審査員 他1名調整中

## 9 審査会及び表彰式の開催方法

- ・審査会(非公開)

審査員のみで審査(対面及びオンラインを併用した開催)

- ・表彰式(公開)

審査結果発表及び表彰、受賞者のプレゼンテーション、審査員の講評を予定。受賞者のプレゼンテーションはオンラインで開催。同時に YouTube ライブ配信を実施。終了後はアーカイブ(マフチャンネル)にて配信。

## 10 受賞作品の活用

受賞アイデアは、農林水産省「世界農業遺産・日本農業遺産」の WEB サイト等で公開するほか、農業遺産に資する展示会等のイベントでも PR を行う。

## 11 主催

農林水産省、農業遺産認定地域連携会議

## 12 事務局

農林水産省 農村振興局 農村政策部 鳥獣対策・農村環境課 農村環境対策室 農業遺産班

## 13 その他

- ・コンテスト名称に込めた想い

世界農業遺産(GIAHS (Globally Important Agricultural Heritage Systems): ジアス)と日本農業遺産(J-NIAHS (Japanese Nationally Important Agricultural Heritage Systems): ジェーニマス)の各地域の産品を掛け合わせるというコンセプトから、頭文字を取った呼び名を掛け合わせるとともに、高校生たちからユーモラスで地域活性化につながる天才的(Genius: ジーニマス)なアイデアが集まることを期待する意味を込めた。

「ふーど」には、食品アイデアの「Food」、さらに各農業遺産地域の独自性が生まれた根源と「風土」の意味を込めた。

また、高校生と農業遺産地域、高校生同士、農業遺産地域同士が「つながる」という意味、高校生のアイデアを通じて地域活性化に「つなげる」、さらには農業遺産の未来への継承に「つなげる」という意味を込めた。